

アシ キタ マチ

# 芦北町

総人口…14,363人 男…6,804人 女…7,559人 世帯数…5,751世帯  
(人口構成比) 15歳未満…9.7% 15~64歳…43.2% 65歳以上…47.1%  
※データは令和6年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。



竹崎 一成 町長

芦北町では、個性輝く魅力と活力あふれるまちを目指し、様々な施策に取り組んでいます。令和2年7月豪雨により被災された方の生活再建が進むとともに、復旧工事も着実に進んでいます。本年も災害復旧の早期完遂を最優先に、次代を見据えた創造的復興、安全・安心に暮らせるまちの実現に向けた事業を積極的に展開していきます。ご賛同いただける企業の皆様には、ご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



## 寄附御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄附額300万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄附額300万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
- ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦(寄附額1,000万円以上) ・その他

## 新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み



カテゴリー4 児童福祉

### たくさん子どもたちが集まる公園整備

本町には、大勢の子どもが楽しめる大型遊具を備えた公園がなく、家族連れが気軽に集える屋外施設が不足しています。開放的で変化に富む外遊びの場で子育て世代が交流し、楽しく安心して子どもを育てられる環境を整える必要があります。



カテゴリー8 まちづくり

### 交通サービスの充実に向けた取り組み

本町は、約8割を山林が占め、山間部に集落が点在していることから、既存の民間交通事業者だけではサービスの提供が難しくコミュニティバスを運行していますが、利用者のニーズを十分に満たしていない状況です。町での暮らしを支える大切な移動手段として、より効果的で持続可能な公共交通を検討する必要があります。



## 芦北町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 基本目標と取り組みの方向性

基本目標

1

#### 活力と雇用をつくる

企業と連携した地域課題の解決や稼げる農林漁業の推進、芦北高校の魅力向上などに取り組み、地域活力の向上を図ります。

基本目標

2

#### 地域の魅力をつくる

観光産業を活性化するための交流人口増加と、移住・定住を促進するための関係人口増加を目指し、多彩な地域資源を活用した町の魅力向上を図ります。

基本目標

3

#### 安心して産み育てる環境をつくる

出産の希望をかなえるための取組を行うとともに、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援体制を整え、安心して子育てができる環境を目指します。

基本目標

4

#### 暮らしを支える基盤をつくる

令和2年7月豪雨からの創造的復興を推進し、住まいづくり、持続可能な公共交通整備等に取り組み、安全・安心に暮らせるまちを目指します。

## 芦北町

### 重点プロジェクト

## 「子育て全面支援。」 大人になるまで全力応援

(SDGs)関連するゴール



総事業費

寄附目標額

数値目標

- 町の総人口に占める0歳~19歳人口の割合…18%
- 年間出生数…100人

子育て世代を取り巻く環境が社会情勢の変化により厳しい状況下にあっても、子どもたちが健やかに成長できるよう様々な支援を行っています。18歳までの子ども医療費無償化や国保税均等割減免、保育所等の副食費や小中学校の給食費完全無償化、と町の単独事業を推進。更に2024年度は保育料の完全無償化も開始しています。

また、葦北郡唯一の高校、芦北高校には教科書代や被服費、通学費、生徒のレベルアップ講座、大学受験・入学料など15項目に及ぶ補助を実施し、将来の芦北町を担う人材育成にも力を入れています。



寄附の具体的なメリット

芦北町は総合計画の基本理念として、「すべては次代を担う子どもたちのために」を掲げています。ご寄附により、町は子育てに係る各種施策をさらに力強く推進でき、また、企業の皆様には子育てや人材育成を応援する企業として更なるイメージ向上に繋がります。ぜひご協力をお願いいたします。

寄附申出書の事業名選択時は「安心して産み育てる環境をつくる」を選択してください。

### 重点プロジェクト

## 「芦北で暮らし、働く。」 繋がりでまちに活力を

(SDGs)関連するゴール



総事業費

寄附目標額

数値目標

- 進出企業と連携した事業数…延べ10件
- 新規創業件数…延べ15件

本町には、廃校舎や役場庁舎を活用した2箇所のサテライトオフィスがあります。企業が企業を呼び好循環が生まれ、現在13件のIT企業等が本町に進出していますが、過疎地で事業を創出することは難しく、また、町内にはITスキルを持つ人材が不足していることから新たな雇用創出に結びつきにくい現状があります。誘致企業と町が連携し、地域資源やニーズを拾い上げて新たな事業を生み出す体制を構築するとともに、町内でのIT人材育成及びUIターンを通じた人材確保に取り組み、雇用創出につなげることを目指します。



キャンプ場でのワーケーション

寄附の具体的なメリット

人口減少が進む県南地域の地域活力強化にご賛同いただける企業の皆様からのご支援をお待ちしています。また、企業ワーケーションや、保育施設と連携した親子ワーケーションの取り組みも行っています。本事業への寄附による参画だけでなく、サテライトオフィス開設の候補地としてもご検討いただけたら幸いです。

寄附申出書の事業名選択時は「活力と雇用をつくる」を選択してください。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。